

情報公開用文書

令和2年4月1日～令和6年9月30日に当院ICUへ入院された方へ

看護研究「重症患者の早期経腸栄養におけるタンパク質摂取量とアウトカムの関連性」へ
のご協力のお願い

1, 研究（調査）の目的と概略

当院のICUでは毎日多職種でカンファレンスを行い、患者様の個別性に応じた医療を提供できるよう取り組んでいます。栄養療法には、食事をとる以外に経腸栄養、経静脈栄養があり、腸内環境を良好に保つためには早期に経腸栄養を開始することが有効であると推奨されています。そのなかでも適性タンパク質投与の重要性が示唆されていますが、研究報告が少なく根拠としては不十分です。当院の現状を明らかにすることで質の高い看護、栄養管理の提供につながると考えています。そのため、当院ICUでの早期経腸栄養におけるタンパク質摂取量によってどのような影響があるのかを明らかにしたいと考えています。

2, 研究（調査）の方法

ICUへ入室した患者様の背景（年齢、性別、体重、BMI、入院理由となった病名）、栄養必要量と摂取量（エネルギー、タンパク質）、予後情報（ICU在室日数、在院日数、生存率）など臨床経過に関する情報を収集、分析します。

3, 調査期間

令和2年4月1日～令和6年9月30日まで

4, 調査の対象となる患者様

本研究の対象となるのは、上記期間にICU入室前24時間以内、もしくはICU入室後48時間以内に人工呼吸器管理を開始し、72時間以上ICUに滞在した18歳以上の患者様です。

5, この研究への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。

データの使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。診療に不利益は生じません。

6, お問い合わせ先

徳島県立中央病院 ICU

研究責任者 小川薫 研究者 古川千夏

〒770-8539 徳島県徳島市蔵本町1丁目10-3

電話番号 088-631-7151（代表） （内線：3441）